

ならホリ「奈良の遊園地と朝ドラの意外な関係」

令和6年(2024)2月6日放送

ならホリ！ 朝ドラとも関係！？奈良の遊園地の秘密
奈良の歴史や文化の魅力をホリ下げる『ならホリ！』。
今回は、現在放送中の朝ドラ「ブギウギ」ともゆかり
がある、「あやめ池遊園地」について掘り下げました。
あやめ池遊園地は1926年に娯楽施設として開園。
入園者数の減少により、2004年に78年の歴史に
幕を下ろしました。実は、朝ドラ「ブギウギ」と意外
な関係性があります！あやめ池遊園地の思い出を振り
返りながら、どんな関係があったのか深掘りします。
(NHK+より)

現在、奈良県にある遊園地は生駒山上遊園地のみです
が、1960年代には4つの遊園地が存在していました。
(あやめ池遊園地、奈良ドリームランド、生駒テック、生駒山
上遊園地)
その一つであるあやめ池遊園地は、大正15年(1926)
に開園し、翌年には「あやめ池温泉」が開業しました。
(写真1)

朝ドラ「ブギウギ」の主人公福来スズ子(モデル笠
置シズ子)の所属していた劇団のモデルになったのが
日本少女歌劇団(後のOSK)であやめ池遊園地を本拠地
にしていた。円型劇場でOSKの公演が行われ、大変な
人気を集めました。(写真3)

先述の「あやめ池温泉」は、後に「日本歌劇学校」劇団
の養成所となりました。(右写真4)

1975年には124万人の来園者がありましたが、平成に
入るとレジャーの多様化や大型テーマパークの開業に
押され、あやめ池遊園地は平成15年(2004)に閉園し、
跡地は住宅地や学校となりました。

遊園地の遊具や施設は、現在さまざまな場所で活用さ
れています。

機関車はこども園で、トルネイダー(ジェットコース
ター)は兵庫県のテーマパーク使用されており、また
劇場の観客席の椅子や照明設備、楽屋のメイク台など
は大阪のライブハウスで活用されています。

劇団OGの大女優・京マチ子が寄贈したピアノも残され
ています。



写真1 昭和30年頃のあやめ池温泉
写真提供：水野俊一氏



写真2 1965年のあやめ池遊園地の案内板
写真提供：岡田庄三氏



写真3 1965年園内風景 円型劇場で
OSKの公演が行われ盛況だった
写真提供：岡田庄三氏。



写真4 1965年日本歌劇学校
写真提供：吉田守氏